

第73回年次大会

研究発表論文集

令和二年
度

日本
繊維
機械
学会

第73回年次大会 研究発表論文集

Proceedings of the 73rd Annual Meeting

期日：2020年6月4日(木)、5日(金)

会場：大阪科学技術センター



一般社団法人 日本繊維機械学会

The Textile Machinery Society of Japan

○西村太良, 行松啓子, 佐々木良子 (京都工芸繊維大学美術工芸資料館染織関連資料調査会)
並木誠士 (京都工芸繊維大学)

1. はじめに

これまでに京都工芸繊維大学美術工芸資料館収蔵の染織品の収集状況の推移¹⁻²⁾や、収蔵品における染織品の位置を報告してきた³⁻⁴⁾。ここでは衣類に注目した。衣類は衣類カーテン等に分類されている中に104件118枚、風俗に分類されている中に41件58枚の合計146件、176枚が収蔵されている。ここでは収集品集の件数、及び、買受金額の年次変化、収集品の種類、特徴的な収集品などについて言及する。

表1 衣類の収集状況

	衣類		
	旧制時代	新制大学	計
購入件数	94	1	95
受贈など	12	38	50
総金額(千円)	8,542.7	550.4	9,093.1
平均金額(千円)	90.9	550.4	95.7

2. 収集状況

衣類の収集状況を表1に示す。購入件数は旧制時代に94件あるが、新制大学では1件のみである。新制大学時代に受贈が38件ある。これは全てが当学名誉教授相宅省吾氏寄贈の相宅コレクションである。旧制時代の総購入金額は約8,543千円(2015年換算)、平均金額は約91千円であった。

図1に購入金額分布を示す。50千円から100千円が20件余で一番多い。400千円以上が3件ある。全体的にはほぼ300千円までのものが多い。

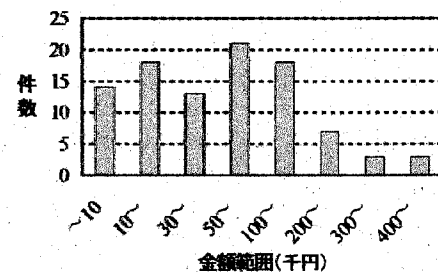


図1 購入金額分布

3. 収集の年度経緯

購入の金額(2015年換算金額)と受入件数の3年毎の推移を、旧制専門学校時代を図2に、新制大学時代を図3に示す。旧制時代には定期的に購入されている。しかし、新制時代には購入は一件で他は当学相宅名誉教授からの受贈であった。

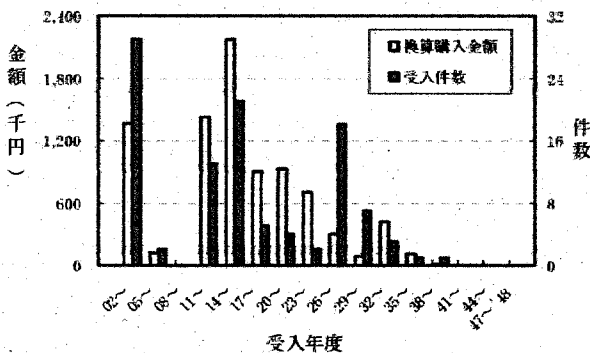


図2 衣類購入件数と金額 (旧制時代)

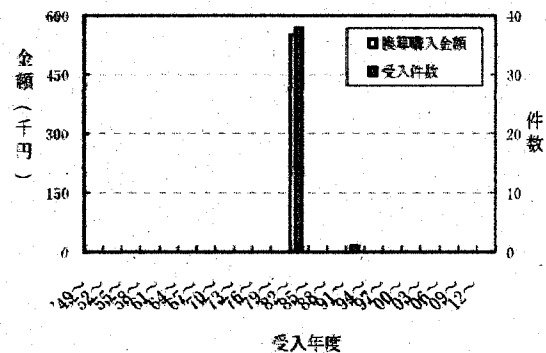


図3 衣類購入件数と金額 (新制大学)

4. 購入金額について

購入金額の分布を図1に示す。一件当たり数千円から400千円超に分布している。多くが200千円以下となっている。

表2に購入資料を金額の高い順に20件示す。当学鶴巻鶴一二代目校長からの受贈品3点の評価額をも参考に示す。最も高価なのは唯一新制大学時代に購入の振袖「手紋本疋田総柄」で約550千円である。旧制時代では高木福次郎から約490千円で1918年度購入の袍装束、平井宇一郎から約336千円で1912年度購入の紋扇屋染打掛や、長田喜太郎から約330千円で1920年度購入の緋梅模様疋田打掛などがある。

About Kimono collection from M&A, KIT's collection

NISHIMURA Tarō, YUKIMASTU Keiko, SASAKI Yoshiko, and NAMIKI Seishi
Textile Research Investigation Committee, Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology
Matsugasaki, Sakyo-ku, Kyoto 606-8585 Japan someori@kit.ac.jp

表2 高額購入品

順	AN 番号	品名	価格 (千円)	受入先	受入 年度	順	AN 番号	品名	価格 (千円)	受入先	受入 年度
1	3433	手紋本疋田総柄振袖	550.4	(株)織通	1983	10	1599	赤袍	209.9	井手善兵衛	1912
2	1812	袍装束	489.7	高木福次郎	1918	11	94	唐棧衿衣	198.1	吉村行七	1920
*	98	振袖紋附(二枚)	423.6	鶴巻鶴一	1925	*	57	婦人紋附	182.1	色染科教室	1914
*	2522	新潟地方幼児晴衣	374.2	鶴巻鶴一	1934	12	874	緞熨斗目かつき	181.9	井手善兵衛	1903
3	33	紋扇屋染打掛	335.8	平井宇一郎	1912	13	91	疋田打掛(江戸中期)	158.5	長田喜太郎	1920
4	92	緋梅模様疋田打掛	330.1	長田喜太郎	1920	14	72	赤地疋田	157.4	光明義一郎	1915
*	97	黒振袖紋附	282.4	鶴巻鶴一	1925	15	322	マンドリンコート	153.9	光明義一郎	1915
5	1815	舞楽衣装	279.8	光明義一郎	1918	16	87	緋梅模様疋田御殿衣	149.7	長田喜太郎	1917
6	77	疋田御殿衣	251.9	光明義一郎	1915	17	1757	女官袴	139.9	藤野敬吉	1915
7	93	納戸松模様疋田打掛	237.7	長田喜太郎	1920	18	209	古代唐棧上衣	139.9	河原徳三	1912
8	73	赤地疋田熨斗御殿衣	236.1	光明義一郎	1915	19	88	緋亀甲模様疋田御殿衣	135.3	長田喜太郎	1917
9	204	金襴ウチカケ	223.8	谷口治三郎	1912	20	34	本紋縷子絞	125.9	平井宇一郎	1912
*受贈品			2015年換算価格			*受贈品			2015年換算価格		

5. 収集品資料名について

収集衣類資料の種類を資料名からキーワードを取り出しその件数を表36に示す。着物の種類では羽織と小袖が10件、狩衣9件、御殿衣8件、袍7件、帷子7件、打掛6件、振袖5件、紋付5件、など約50種類がある。生地種類では、縮緬7件、絹6件、紗5件、緋5件、風通4件、鹿子2件などがある。文様では疋田が多く収集されている。また、図柄が多く記述されている。材料では麻が18件、絹4件、木綿2件であるが、殆どが特に記されていない。生産地では台湾6件、琉球が2件あるが、殆どが日本のものと考えられる。用途では子供服は子供四ツ身などが3件あることを示す。

表3 収集衣類資料名のキーワードによる件数

種類	マンドリンコート	1	半纏	1	大島帷子	1	菊紋	2	扇屋染	1	水色	1	カピタン	1	
羽織	10	一重	1	表袴	1	大麻布	1	四季草花	2	大名柄	1	浅黄	1	ジャワ	1
小袖	10	印半纏	1	舞踏服	1	八反	1	鹿子	2	竹菊	1	鉄めくら*	1	新潟	1
狩衣	9	下襲	1	六位衣冠	1	風通織	1	唐織	2	鶴菱	1	鉄無地	1	用途	
御殿衣	8	絵羽織	1	杉	1	縫取	1	唐草	2	納戸松	1	撫子	1	婦人	3
帷子	7	肩絹	1	生地		紹ざし	1	波	2	片身	1	縹色	1	ワヤン衣装	1
袍	7	合羽	1	縮緬	7	縷子	1	波に童	2	宝尽	1	材料		雑式	1
打掛	6	腰巻	1	絹	6	襦	1	疋田鹿子	2	縫着物	1	麻	18	子供四ツ身	1
袴	5	差貫	1	紗	5	文様		遊鯉	2	縫人	1	絹	4	幼児	1
振袖	5	指貫	1	緋	4	疋田	15	童	2	麻葉	1	木綿	2	小児	1
帷子	3	女官袴	1	白地	3	御殿	11	ざしこ	1	熨目	1	上布	1	晴衣	1
袍	3	小児服	1	羽二重	3	縷	11	チラン模様	1	色		真綿	1	役用	1
打掛	2	消防衣	1	金襴	3	刺繍	9	メクラ縷*	1	赤	12	明石上布	1	奥丁	1
御殿小袖	2	水干	1	唐棧	3	赤地	9	雲龍	1	黒	7	石綿	1		
作業衣	2	替衣	1	唐織	2	鶴	4	格子縷	1	紺	5	染技法		その他	
直垂	2	単	1	絵かすり	1	縦縷	3	近江八景	1	紫	5	書友禪	1	口付	1
法衣	2	直衣	1	シルケット	1	松	3	九曜の星	1	緋	5	友禪	1		
縷入	2	奴袴	1	綾地	1	梅	3	御殿模様	1	茶	2	藍立	1		
畧狩衣	2	二枚襲	1	唐織	1	無地	3	桜花に遊鯉	1	納戸	2	書友禪	1		
袴	2	能装束	1	絵緋	1	熨斗	3	車	1	オリーブ色	1	地域			
ウチカケ	1	白丁	1	御召	1	牡丹	2	縦横縷	1	ヒワ	1	台湾	6		
かつき	1	伴天	1	紗ざし	1	亀甲鶴	2	松竹梅	1	黄色	1	支那*	1		
チョツキ	1	長襦袢	1	縦縷	1	牡丹	2	青楓に鶴飼	1	紫紺	1	琉球	1		

参考文献

- 1) 西村太良, 佐々木良子, 並木誠士, 日本繊維機械学会第70回年次大会(大阪) 研究発表論文集講演要旨集 pp. 84-85 (2017)
- 2) 西村太良, 佐々木良子, 並木誠士, 繊維機械学会誌, 71, pp.163-169 (2018)
- 3) 西村太良, 佐々木良子, 並木誠士, 日本繊維機械学会第71回年次大会(大阪) 研究発表論文集講演要旨集 pp. 92-93 (2018)
- 4) 西村太良, 佐々木良子, 平芳幸浩, 並木誠士, 繊維機械学会誌, 72, pp. 113-117 (2019)